

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

発掘された映画たち2014

Cinema: Lost and Found 2014

2014年9月27日(土) - 10月12日(日)

発掘された映画たち2014

9月の休館日:

月曜日、9月8日(月) - 12日(金)

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金=一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。



東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

Cinema: Lost and Found 2014

2014

9

NFCカレンダー
2014年9月号

大ホール 上映作品

発掘された映画たち2014
Cinema: Lost and Found 2014

フィルムセンターが新たに発掘・復元した映画を紹介する企画「発掘された映画たち」を4年ぶりに開催いたします。日露戦争と関東大震災に関する「複数バージョン」特集や、はじめて現存が確認された福宝堂(1910年創業)撮影の記録映画、また、今回新たに作成した、現存する日本最古のアニメーション『なまくら刀』(1917年)の最長版や徳川夢声の説明音声映像と同期させた『路上の靈魂』(1921年)、さらには戦前の大阪で活躍したアマチュア映画作家^{もりくれない}森紅の特集など、計49本(14プログラム)の作品を上映します。

会期中には、研究者や当館研究員のトーク・講演も予定しています。アナログ・デジタル技術を取り入れた復元の成果をご覧いただき、文化財・歴史資料としての視覚遺産を保存することの大切さを再認識するきっかけにいただければ幸いです。

1 9/27(土)1:00pm★ 10/7(火)7:00pm★

複数バージョン特集1 ——日露戦争の記録映画(計65分)

複製技術を基盤とし、製作・配給・興行の複雑な過程をもつ映画は、その歴史において多くの「複数バージョン」を生み出してきた。本企画では、日露戦争と関東大震災の記録映画という、とりわけ多くの異版を生んだジャンルを、最新の調査研究の報告とともに上映する。フィルムセンターが所蔵する多くの日露戦争記録映画は、英アーバン社のカメラマン、ジョゼフ・ローゼンタールが撮影した『旅順の降伏』(現在のところオリジナル版の完全な現存が確認されていない)のフッテージが再利用されており、同作品の「複数バージョン」である。

旅順の降伏(13分・14fps・35mm・無声・染色)
PORT ARTHUR SIEGE AND SURRENDER
オリジナル版全24場面のうち、前半の12場面が構成。明治神宮のフッテージが挿入されており、同神宮が創建された1920年以降に上映されたプリントと思われる。個人寄贈の35mm可燃性染色ポジからの復元。
1904-05(アーバン)◎ジョゼフ・ローゼンタール

國寶的記録映画 旅順開城と乃木將軍
(24分・14fps・35mm・無声・白黒)

当館が所蔵する最長の日露戦争記録映画で、『旅順の降伏』の18場面を含む。日露戦争期に巡回興行をしていた駒田好洋の設立したセカイフィルム社が1935年に公開したバージョンが改変され、後半に奉天攻撃の様子を再現したフッテージが繋ぎこまれている。既蔵16mmデュープネガを基に初めて35mmプリントを作成。製作年不詳(アーバン)◎ロゼン・シャル(ローゼンタール)

実戦記録映画 懐ひ起せ 日露大戦
(10分・16fps・35mm・無声・染色)

『旅順の降伏』とは異なるフッテージが編集された、新規収蔵の日露戦争記録映画(素材協力:プラネット映画資料図書館、原版管理:神戸映画資料館)。
1932(杉本商会)

*以下は参考上映

日露海戦(3分・16fps・35mm・無声・白黒)
COMBAT NAVAL RUSSO-JAPONAISE

『旅順の降伏』のフッテージを含まない唯一の既蔵プリント。模型を用いて海上の戦闘を再現。
1904(パテ)◎リュシアン・ノンゲ

明治大帝の御英姿及び日露戦争の中心人物 短縮篇(15分・14fps・35mm・無声・白黒)

従来『日露戦争記録』として知られてきたが、大阪フィルム商会在『旅順の降伏』のステッセル將軍降伏の場面に別作品を繋ぎ合せ、1929年に公開したバージョンであることが判明した。
1929(大阪フィルム商会)

★印の回は途中に当館研究員の解説を挟みながらの上映となります。

2 10/11(土)1:00pm★ 10/11(土)5:00pm★

複数バージョン特集2 ——関東大震災の記録映画(計63分)

1923年9月1日の関東大震災の発生直後、文部省を含む複数の製作者が、この大災害を記録した。震災記録映画は全国各地で上映を求められた結果、既存フッテージの使いまわしやタイトルの改変、再編集などが横行し、大量の異版が生まれることになった。現在に至るまで、震災記録映画は当時正確に何本製作されたか不明で、現存するフィルムは少なくとも10本以上ある。本プログラムでは、新規収蔵の震災記録映画フィルムを上映する。

大正十二年九月一日 帝都大震災大火災 大惨状
(27分・16fps・35mm・無声・白黒)

今年東京都大田区の千束八幡神社から寄贈された可燃性ポジからの復元。冒頭に「撮影 東京シネマ商会」とあり、フィルムを保管していた缶には同商会の缶表が付いていたことから、同商会在文部省が撮影を委嘱した『関東大震災火災実況』(現存最長版は64分)の異版であると思われる(ただし中間字幕は既蔵のものとは異なる)。
1923年頃◎荒川勢三、白井茂

大震災中のいたまじき 大東京の大惨状
(10分・16fps・35mm・無声・白黒)

記録映画社所旧蔵のインターネガから上映プリントを作成。こちらも『関東大震災火災実況』の異版と思われるが、既蔵フィルムにはない遺体の映像などが含まれている。
1923年頃

大正十二年九月 実寫 関東地方大震災
(20分・16fps・35mm・無声・染色)

昨年京都大学大学院工学研究科の地下書庫で発見され、今年当館に寄贈された可燃性緑色ポジからの復元。当館既蔵の『関東大震災実況』(日活製作)などと同一のフッテージを多く含むが、大阪毎日新聞社から京都帝国大学に寄贈されたフィルムとされ、出自に不明な点が多い。きわめて鮮明な映像が保たれている。
1923年頃

復興中の大東京 中野城西館附近
(6分・16fps・35mm・無声・白黒)

今年東京都慰霊協会から寄贈された可燃性ポジからの復元。
1923年以降
★印の回は途中に当館研究員の解説を挟みながらの上映となります。

3 9/27(土)4:00pm★ 10/8(水)3:00pm★

発掘されたアニメーションと戦前時代劇 (計64分)

なまくら刀(塙凹内名刀之巻)

[デジタル復元・最長版]
(5分・16fps・35mm・無声・染色)

現存する日本最古のコマ撮り式アニメーション。「発掘された映画たち2008」において、可燃性染色(黄色)ポジからデジタル復元されたものが上映されたが、これは全体の「後半」部分にあたる。今回新たに発見された「前半」部分にあたる可燃性染色(緑色)ポジと合わせることで、現時点で最長のデジタル復元版を作成した(素材協力:松本夏樹氏、復元作業:IMAGICA、IMAGICAウェスト)。
1917(小林商会)◎幸内純一

のろまな爺 [デジタル復元版]
(5分・16fps・35mm・無声・染色)

2013年に発見された大藤信郎の第1作(試作)。『竹取物語』と共に、素材協力はプラネット映画資料図書館、原版管理は神戸映画資料館、復元作業はIMAGICAおよびIMAGICAウェストである。
1924◎大藤信郎

竹取物語 [デジタル復元版]
(3分・24fps・35mm・無声・カラー)

2013年に発見された大藤の未完の遺作。残された素材の編集は、神戸映画資料館館長・安井喜雄氏による。
1961(千代紙映画)◎大藤信郎

堀田隼人 [玩具フィルム]
(1分・16fps・35mm・無声・調色)

これまで現存が確認されていなかった伊藤大輔の時代劇作品。
1924(千重プロ=日活)◎伊藤大輔◎片岡千恵蔵

忠次旅日記 甲州殺陣篇 [玩具フィルム]
(1分・16fps・35mm・無声・染色)

これも初めて現存が確認された、『忠次旅日記』3部作の第1部「甲州殺陣篇」の断片。

1927(日活大將軍)◎伊藤大輔◎大河内傳次郎

影法師捕物帖
(49分・16fps・35mm・無声・白黒)

二川文太郎が、自身の監督した『江戸怪賊伝 影法師』(1925、阪東妻三郎主演)を市川右太衛門主演でリメイク。全10巻中、1巻と5-7巻が現存。冒頭のクレジット部分のアニメーションが新たな時代劇の登場を予感させる(素材協力:プラネット映画資料図書館、原版管理:神戸映画資料館)。

1926-27(マキノ御室)◎藤岡牧野省三◎二川文太郎◎◎◎
◎善々多呂九平◎松浦しげる◎市川右太衛門、鈴木澄子、武井龍三、中根龍太郎

★印の回は途中に当館研究員の解説を挟みながらの上映となります。

4 9/28(日)1:00pm★ 10/8(水)7:00pm★

路上の靈魂 [弁士説明版]

(84分・24fps・HDCAM-SR・白黒)

1954年5月3日、国立近代美術館(当時)主催の「映画と講演の夕」において『路上の靈魂』が上映され、封切時に映画説明を付けた徳川夢声、レコード伴奏に合わせて再び説明を披露した。今回現存が確認された6mm音声テープには、その最初と最後の計54分間が収録されていた。これを35mmプリントのHDスキャン・データとデジタル合成し、上映用メディアを作成した。

1921(松竹キネマ研究所)◎◎村田真◎ウイヘルム・シュミット=ボン、マクシム・ゴリキー ◎◎牛原虚彦◎水谷文次郎、小田濱太郎◎溝口三郎◎小山内薫、英百合子、伊達龍子、東郷是也、久松三岐子、澤村春子、南光明、蔦村繁、岡田宗太郎

★印の回は上映前に当館研究員による解説(約5分)があります。

5 9/28(日)4:00pm★ 10/7(火)3:00pm★

福宝堂撮影の記録映画と尾上松之助・阪東妻三郎の葬儀実況(計63分)

明治四十五年四月四日 藤田男爵 葬式の實況 [デジタル復元版]

(2分・16fps・35mm・無声・一部染色)

明治期の関西財界の巨頭・藤田伝三郎(1841-1912)の葬儀を記録した映画。にぎやかな葬列の様子が、民間人として初めて男爵位を与えられた藤田の多方面にわたる功績を偲ぼせる。1910年に創業した福宝堂は、直営館での興行から製作へと進出し、1912年には他3社と合併して日活を設立した。個人寄贈の35mm可燃性染色ポジからの復元。
1912(福宝堂)

日活取締役 故中村鶴三氏 尾上松之助 葬儀実況 大正十五年九月十六日

(22分・16fps・35mm・無声・白黒)

日本最初の映画スター・尾上松之助(1875-1926、本名・中村鶴三)の葬儀実況。尾上松之助遺品保存会の協力を得て、遺族宅で発見された35mm可燃性ポジから復元。驚くほど鮮明なフッテージである。
1926(日活大將軍)

故 阪東妻三郎 関西映画人葬実況
(5分・35mm・白黒)

女優・阪東妻三郎(1901-1953、本名・田村傳吉)の功績を讃える、松竹京都撮影所での関西映画人たちによる葬儀の記録。来賓席には市川右太衛門、マキノ雅弘、溝口健二などなじみの俳優・監督が列席し、円熟期の阪妻を支えた伊藤大輔監督が弔辞を捧げている。1931年1月に千葉県谷津海岸に建設された阪妻プロの関東撮影所の視察に、李王垣が訪れた際の貴重な記録映画と共に、個人寄贈の35mm可燃性ポジからの復元。阪妻の日常が垣間見えるホーム・ムービーも併映。
1953(松竹京都)

昭和七年 二月十四日 李王殿下を奉迎して
(7分・18fps・35mm・無声・白黒)

1932(阪妻プロ関東)

田村家ホーム・ムービー
(27分・24fps・16mm・無声・白黒)

製作年不詳

★印の回は途中に当館研究員の解説を挟みながらの上映となります。

6 9/30(火)3:00pm★ 10/4(土)5:00pm★

さらば青春 [デジタル復元版]

(64分・18fps・35mm・無声・白黒)
ADDIO GIOVINEZZA!
トリノを舞台に、大学生と下宿の娘、妖艶な女優との恋のもつれを軽妙に綴った人気作...

★印の回は上映前に当館研究員による解説(約5分)があります。

7 9/30(火)7:00pm 10/5(日)1:00pm

寒椿 [染色版]

(86分・16fps・35mm・無声・染色)
井上正夫のアメリカからの帰朝第1作となった新派映画。水谷八重子が「覆面令嬢」のクレジットで映画初出演を果たしている...

8 10/1(水)3:00pm 10/5(日)4:00pm

不壊の白珠 [染色版]

(102分・24fps・35mm・無声・染色)
菊池寛の通俗小説を映画化した清水宏のメロドラマ。画面の暗かった従来版の復元版(英語字幕付)には日本語の中間字幕が判読できない箇所があったため...

9 10/1(水)7:00pm 10/9(木)3:00pm

戦中期記録映画選集 (計91分)

戦中期における銃後の記憶を今に伝える記録映画の特集。日本赤十字社における看護婦の実習の様相を伝える『戦ふ女性』、国民学校で模型飛行機を組み立ててひたむきな子供たちを記録した『僕らの翼』...

戦ふ女性 (22分・35mm・白黒)

1939(朝日映画社) ◎◎ 永富次郎 ◎◎ 田畑雅 ◎◎ 福田宗吉 ◎◎ 中村茂

僕らの翼 (26分・35mm・白黒)

1941(横浜極東現像所) ◎◎ 市川哲夫 ◎◎ 横田達之 ◎◎ 諸井三郎 ◎◎ 加良誠一

築く體力 (20分・35mm・白黒)

1942(都商會文化映画部) ◎◎ 長尾史録 ◎◎ 福井徳夫

救急法 (23分・35mm・白黒)

1943(日本商事映画社) ◎◎ 横成新井博 ◎◎ 日本赤十字社 ◎◎ 岩谷サウンド・システム

10 10/2(木)3:00pm 10/10(金)7:00pm

ヒロシマ1966 (78分・35mm・白黒)

アラン・レネの『二十四時間の情事』(1959)で助監督を務めた広島出身の白井と、後に個人映画作家として活躍する金井が、共に大映を飛び出して製作した意欲作。リアリズムとアンチロマンの不意の交錯により、暗夜行路の広島は世界のヒロシマへと変貌する...

1966(広島県原爆被害者映画製作の会) ◎◎ 白井更生 ◎◎ 金井勝 ◎◎ 山内正 ◎◎ 望月優子、加藤剛、松本典子、寺田路恵、鈴木宏子、永井智雄、下村和男、長谷川美代子

11 10/3(金)3:00pm 10/9(木)7:00pm

チェチェメ二号の冒険

(83分・35mm・カラー)
ミクロネシア・サトウル島から海洋博開催中の沖縄まで、自家製カメラによる3,000キロの航海記録。この壮挙に島の民俗誌を絡ませた見ごたえある娯楽作として、『キネマ旬報』文化映画ベストワンに輝いた...

12 10/2(木)7:00pm 10/12(日)1:00pm★

個人映画特集1: 森紅作品集 (計76分)

森紅は昭和初期の大阪で活躍したアマチュア映画作家であり、アマチュア映像文化を牽引した人物である。森はパテ・ベビーで日常を映像化すると共に、国内外の作品競技会で数々の秀作を発表した...

ヴォルガの船唄 扇光樂

(5分・16fps・35mm・無声・白黒)
1932(OSAKA MORI BABY-CINEMA) ◎◎ 森紅

タバコの煙 (6分・16fps・35mm・無声・白黒)

1933◎◎ 森紅

旋律 (4分・16fps・35mm・無声・白黒)

1933◎◎ 森紅

千鳥の曲 (3分・16fps・35mm・無声・白黒)

製作年不詳◎◎ 森紅

奔流 (3分・16fps・35mm・無声・染色)

製作年不詳◎◎ 森紅

臺所の戯曲 (6分・16fps・35mm・無声・白黒)

1935(日本小型映画作家聯盟) ◎◎ 森紅

遺訓によりて (11分・16fps・35mm・無声・白黒)

1937◎◎ 森尾貢(森紅)

童話劇 伯母さまの冗談

(9分・16fps・35mm・無声・白黒)
1955(比呂志映画) ◎◎ 森紅 ◎◎ 小川重夫 ◎◎ 雨森路代、寒城悠紀子、菅迎てゐ

人騒がせ (6分・16fps・35mm・無声・白黒)

製作年不詳◎◎ ◎◎ 森紅 ◎◎ 夢(森紅) ◎◎ 山内氏 ◎◎ 若葉薫、都櫻子

花にうかれて

(6分・16fps・35mm・無声・パートカラー)

製作年不詳 ◎◎ エイ子(森紅)

競馬放送 (9分・16fps・35mm・無声・白黒)

製作年不詳(OSAKA MORI BABY-CINEMA) ◎◎ 森紅

晩秋の古都 (8分・16fps・35mm・無声・白黒)

製作年不詳 ◎◎ ◎◎ 森紅

★印の回は上映後に松谷容作氏(神戸大学大学院人文学研究科研究員)による解説(約30分)があります。

13 10/3(金)7:00pm★ 10/12(日)4:00pm★

個人映画特集2: 荻野茂二作品集 (計87分)

1920年代から80年代まで個人映画の先駆者として活動した荻野茂二の8mm・9.5mm作品を35mmプリントにブローアップして上映する。これまで1930年代の実験的な作風の評価されてきた荻野だが、自身は記録としての映画の重要性を強調していた...

智慧の登山 (16分・16fps・35mm・無声・白黒)

1931 ◎◎ 荻野茂二

SCREEN GRAPH オール・ニッポン

(10分・16fps・35mm・無声・白黒)
1937 ◎◎ 荻野茂二

時計 [トーキー版] (7分・35mm・白黒)

1963 ◎◎ 荻野茂二

日本橋 (15分・16fps・35mm・無声・白黒)

1964 ◎◎ 荻野茂二

都電60年の生涯

(30分・16fps・35mm・無声・パートカラー)
1967 ◎◎ 荻野茂二

スト決行中 (9分・16fps・35mm・無声・カラー)

1970 ◎◎ 荻野茂二

★印の回は上映後に当館研究員による解説(約20分)があります。

14 10/4(土)0:30pm★ 10/10(金)2:30pm★

個人映画特集3: 鈴木志郎康作品 (200分)

草の影を刈る (200分・35mm・白黒)

個人映画の極北を歩んできた詩人＝映像作家による4部構成の日記映画。自宅の窓からの眺めや妻子との日常をカメラに収めながら、作家自身のモノローグが撮影とは、映画とは、自分とは、と問い続ける。16mm反転プリントと磁気トラックを要素材に、ブローアップによるネガから35mmプリントを仕上げた。

★印の回は上映前に当館研究員による解説(約5分)があります。

- ◎◎=監督・演出 ◎◎=原作・原案 ◎◎=脚本・脚色 ◎◎=撮影 ◎◎=美術・舞台装置 ◎◎=編集 ◎◎=録音 ◎◎=音楽 ◎◎=出演 ◎◎=ナレーション
■ 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
■ 記載した分数は、当日のものと多少異なることがあります。
■ 各プログラム中の上映順序はやむを得ず変更になる場合があります。

お知らせ
ユネスコ「世界視聴覚遺産の日」記念特別講演会
In Celebration of UNESCO World Day for Audiovisual Heritage
関東大震災記録映画フィルムの発見—デジタル保存とその活用
2014年10月11日(土) 2:15pm-4:00pm(終了時刻は予定)
東京国立近代美術館フィルムセンター大ホール(2階) 入場無料

発掘された映画たち2014
Cinema: Lost and Found 2014

月	火	水	木	金	土	日	
9月	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	1	2	3	4	5
10月	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19

第36回
PIA FILM FESTIVAL
9月13日(土) - 25日(木)

1 1:00pm 1:00pm
日露戦争の記録映画 (計65分)
*トーク・イベントがあります

2 2:15pm
ユネスコ「世界視覚遺産の日」記念特別講演会
「関東大震災記録映画フィルムの発見—デジタル保存とその活用」

3 4:00pm
発掘されたアニメーションと戦前時代劇 (計64分)
*トーク・イベントがあります

4 0:30pm 2:00pm
草の影を刈る (200分)
*トーク・イベントがあります

5 4:00pm
福宝堂撮影の記録映画と尾上松之助・阪東妻三郎の葬儀実況 (計63分)
*トーク・イベントがあります

6 5:00pm
さらば青春 [デジタル復元版] (64分)
*トーク・イベントがあります

7 1:00pm
寒椿 [染色版] (86分)

8 4:00pm
不壊の白珠 [染色版] (102分)

9 3:00pm
さらば青春 [デジタル復元版] (64分)
*トーク・イベントがあります

10 7:00pm
日露戦争の記録映画 (計65分)
*トーク・イベントがあります

11 7:00pm
チェチェメ二号の冒険 (83分)

12 1:00pm
森紅作品集 (計76分)
*トーク・イベントがあります

13 7:00pm
荻野茂二作品集 (計87分)
*トーク・イベントがあります

14 2:30pm 2:00pm
草の影を刈る (200分)
*トーク・イベントがあります

15 7:00pm
ヒロシマ1966 (78分)

16 5:00pm
関東大震災の記録映画 (計63分)
*トーク・イベントがあります

17 4:00pm
荻野茂二作品集 (計87分)
*トーク・イベントがあります

18 1:00pm
森紅作品集 (計76分)
*トーク・イベントがあります

19 1:00pm
不壊の白珠 [染色版] (102分)

20 3:00pm
さらば青春 [デジタル復元版] (64分)
*トーク・イベントがあります

21 3:00pm
不壊の白珠 [染色版] (102分)

22 3:00pm
ヒロシマ1966 (78分)

23 3:00pm
チェチェメ二号の冒険 (83分)

24 7:00pm
荻野茂二作品集 (計87分)
*トーク・イベントがあります

25 7:00pm
さらば青春 [デジタル復元版] (64分)
*トーク・イベントがあります

26 7:00pm
日露戦争の記録映画 (計65分)
*トーク・イベントがあります

27 7:00pm
チェチェメ二号の冒険 (83分)

28 7:00pm
ヒロシマ1966 (78分)

29 7:00pm
荻野茂二作品集 (計87分)
*トーク・イベントがあります

30 7:00pm
さらば青春 [デジタル復元版] (64分)
*トーク・イベントがあります

31 7:00pm
日露戦争の記録映画 (計65分)
*トーク・イベントがあります

■ 作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。

展示室 (7階)

【企画展】

ジャック・ドゥミ 映画／音楽の魅惑
Le monde enchanté de Jacques Demy

2014年8月28日(土) - 12月14日(日)

*月曜日、9月8日(月) - 12日(金)、10月13日(月) - 23日(木)は休室

本展示室は、昨年パリのシネマテーク・フランセーズで行われた展示会の初のアジア巡回です。スチル写真や撮影スナップ、美術デザインや製作資料、さらにはドゥミ本人のアート作品も紹介しながら、ドゥミの生涯と業績を振り返ります。
・詳細は当該チラシまたはフィルムセンターのホームページをご覧ください。

【常設展】企画展に併設

NFCコレクションでみる
日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film
From the NFC Non-film Collection

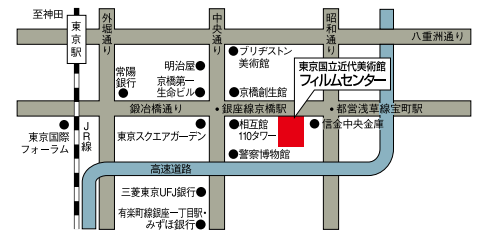
映画の渡来した19世紀末から発展を続け、二つの黄金時代を経験した日本映画の豊かな歴史を、長年フィルムセンターが収集してきた多彩なコレクション(ポスター、スチル写真、雑誌、製作資料、業界資料、カメラなど機械類、映画人の遺品、映像など)によってたどります。日本映画史の新しい学びの場として、小学生から大人まで幅広い世代の方々を対象とする内容になっています。
(Captions in Japanese and English)

開室時間=午前11時 - 午後6時30分
(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通) = 一般210円(100円) / 大学生・シニア70円(40円) / 高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

* ()内は20名以上の団体料金です。
* 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。
* フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

常設展ギャラリー・トーク
毎月第一土曜日12時より(休室の場合は第二土曜日)
9月6日、10月4日



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハロダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:
<http://www.momat.go.jp/>
NFC携帯電話ホームページ:
<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>



図書室カレンダー

赤字は休室日

9月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

10月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5		
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

図書室 (4階) 開室=火曜日 - 土曜日(午後0時30分 - 午後6時30分 / 入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日